

令和5年度第3回埼玉県東部地域医療構想調整会議 議事概要

1 日時及び会場

令和5年11月29日（水） 午後7時30分から午後9時15分
埼玉県春日部地方庁舎 3階 大会議室（ウェブ会議システム併用）

2 出席者

- 調整会議委員（別紙名簿のとおり）

委員総数27名 出席24名（うち代理出席1名） 欠席3名

- 事務局

保健医療政策課、医療整備課、医療人材課、高齢者福祉課、春日部保健所、草加保健所、越谷市保健所

- 医療機関説明者（議事1、議事3のみ出席）

（議事1）春日部さくら病院、春日部厚生病院、埼玉草加病院、（仮）AOI吉川病院、北辰病院
新越谷病院、（仮）タムス越谷病院、埼玉東部循環器病院、（仮）越谷けやき病院、十全病院

（議事3）春日部市立医療センター、越谷市立病院

- 傍聴者

3人

- 地域医療構想アドバイザー

埼玉医科大学 医学部特任教授 小野寺 亘 氏

3 あいさつ

中村議長（春日部市医師会会長）

4 議事

冒頭でこの会議を公開とする旨の発議があり了承された。

資料6により、保健医療政策課から令和5年度第2回埼玉県東部地域医療構想推進会議における主な意見の紹介があった。その後、次の議事が行われた。

（1）病床整備の進捗状況について

医療整備課から資料1-1に基づき過去の公募で配分した病床整備計画の進捗状況について説明があった。

その後、該当医療機関より病床開設の報告、病床整備の進捗状況の報告があった。

【質疑・応答】

- 既存の医療機関も看護師等の人材不足に苦労している状況がある。提出のあった資料によると、今後、常勤看護師は約300人ほど需要があると読み取れた。東部地域の現状として、まだ十分人材が足りていない状況の中、これだけの看護師が捻出できるのかと懸念している。もちろんグループ病院については、さまざまな融通する方法があると考えますが、現実的に既存の病院が募集をしてもなかなか不足が埋まらない状況を考えると、人材確保はかなり

苦勞せざるを得ない状況と考える。この点はどのように考えるか。(越谷市医師会 原委員)

→ 10月以降に、医師1名、看護師(常勤)4名、看護師(非常勤)2名、看護助手3名、理学療法士4名、作業療法士1名、管理栄養士2名採用することができた。まだ少し不足があることから、引き続き募集を続けるとともに、グループ内から人員を確保して参りたい。

恐らくご懸念なさっているのが地域内からの引き抜きという件かと思料する。現在、人材紹介会社を介して採用活動を行っているが、近隣病院で現在勤務している方は紹介しないようにお伝えしているところ。実際、数名お断りしている事例はある。(十全病院)

【主な意見等】

- ・ 地域の開業医に影響の出るような採用活動は控えていただきたいと思う。(春日部市医師会 中村委員)

→ 正にその通りと考える。東部地域に偏って集中的に病床が一気に増えるため、人材の確保については非常に懸念している。人材派遣会社を介して募集をしてもなかなか集まらない現状がある。良いアイデアを出していただいて十分に人材が足りるようにご配慮いただきたい。(越谷市医師会 原委員)

(2) 令和4年度病床機能報告・外来機能報告結果について

資料2-1～4に基づき保健医療政策課から令和4年度病床機能報告結果の報告がなされた。資料2-5に基づき令和4年度外来機能報告結果の報告がなされた。

その後、獨協医科大学埼玉医療センターが紹介受診重点医療機関として12月1日付で県ホームページで公表することの可否について協議を行った。その結果、紹介受診重点医療機関として公表することで異議ない旨認められた。

【質疑・応答】

特になし。

【主な意見等】

特になし。

(3) 医療機関対応方針の協議・検証について

資料3-1及び2に基づき保健医療政策課から策定状況の報告がなされた。

その後、資料3-3に基づき春日部市立医療センターから「公立病院経営強化プラン」の骨子案について、資料3-4に基づき越谷市立病院から「公立病院経営強化プラン」の説明が行われた。

【質疑・応答】

- ・ (越谷市立病院に対して) 従前より、病床稼働率がよくないと言われている。以前は89パーセント前後の病床稼働率で、現在は70%前後と聞いている。これらに対する取組はどのように考えているか。(越谷市医師会 原委員)

→ 確かに当院の病床稼働率は、非常に厳しい状態となっている。対策としては、救急や紹介の患者の受入れを徹底するということ院内で周知している。新型コロナウイルスの病床確保を10月から取りやめて、各病棟で受け入れるようにしており、徐々に病

病床稼働率が上がってきている。引き続き救急患者の受け入れなどを強化して病床稼働率の上昇を図って参りたい。(越谷市立病院)

- ・ 病床稼働率の低下の要因として、おそらく看護職員の稼働率の低下があると考えているがいかかか。例えば、定員を増やすことや非常勤を増やすことなどが対策としてあると思うが、看護職員の不足もしくは補充方法などの点で何か考えていることはあるか。(越谷市医師会 原委員)

→ 産前・産後休暇や育児休業などにより一部足りてないという話も聞いている。一時的な解決策として、医療業務員を雇用し、看護師業務をタスクシフトするような形でサポートをしている。また、看護師の確保については、すでに勤務をしている看護師の卒業した看護学校に直接赴いて働きかけをするなどして確保に取り組んでいる。(越谷市立病院)

病棟の稼働率が上がらないのは事実である。また、看護職員については夜勤ができる方など、そういう職員を確保するが難しくなっている実態がある中で、当院で取り組んできたこととして、フランチャイズ制がある。

小児科病棟や産婦人科病棟、脳外科病棟などの病棟を撤廃し、各病棟をすべて均等に受け入れるというように流動性を持ち患者の受け入れを行っている。(越谷市立病院 丸木委員)

【主な意見等】

特になし。

(4) 医師の働き方改革に係る特例水準の指定について

資料4に基づき医療人材課から令和6年4月から始まる医師の時間外労働の上限規制に向けた特例水準対象医療機関の指定について説明を行った。

その後、特例水準指定予定医療機関(2医療機関)について、医療提供体制の確保の観点から各委員の意見を確認した。2医療機関について指定を受けることについて意義ない旨認められた。

【質疑・応答】

各水準における時間外勤務の上限について確認したい。(越谷市医師会 原委員)

→ 特例水準の指定を受けない水準をA水準として、上限を960時間としている。今後の特例水準の指定により、B水準・連携B水準・C-1水準ともに上限1860時間となる。(医療人材課)

【主な意見等】

特になし。

(5) 地域保健医療計画及び介護保険事業(支援)計画における在宅医療・介護サービス等の追加的需要について

資料5-1及び2に基づき高齢者福祉課から説明がなされた。第9期介護保険事業（支援）計画における追加的需要の割合について説明がなされた。

【質疑・応答】

特になし。

【主な意見等】

- ・ 現在、春日部市における第9期介護保険事業計画を策定中である。春日部市においては、41.7人をベースとして令和8年度末までのサービス見込み量について、これまでの実績や今後の施設整備の状況等を勘案しながら適切に計画に見込んでいけるよう検討している。今後も審議会等の意見も交えながら見込んで参りたい。（春日部市健康保険部長 折原委員）
- ・ 地域医療構想における医療機関の整備と同じことが介護施設にも言えることと考える。医療従事者、看護職員と同等、またはそれ以上に介護従事者の不足が昨今言われている。このあたりもしっかり担保しながら整備していただければよいと思う。（埼玉県病院団体協議会 西村委員）

5 地域医療構想アドバイザー 小野寺氏コメント

- ・ 議事（3）医療機関対応方針の協議・検証についてのうち、公立病院経営強化プランについて
厚生労働省はこの強化プランの策定に際して、「持続可能な地域医療提供体制を確保するため、限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用するという視点を最も重視し、新興感染症の感染拡大時等の対応という視点を持って、公立病院の経営を強化していくことが重要」としている。

原委員から病床稼働率の関係や看護師の確保について説明があったが、今回の会議で春日部市立医療センターと越谷市立病院の2病院について、公立病院経営強化プランが提示されたということについて敬意を表したいと思う。

このプランは必要に応じて改訂するという事となっていることから、両病院においては今後も地域における重要な役割を期待したいと考える。

- ・ 議事（4）医師の働き方改革にかかる特例水準の指定について

東部地域では特例水準指定医療機関として2病院の説明があり、指定の予定の部分については順調に進んでいるということであった。この点は良いと考えるが、県全体の地域医療構想推進会議で出た意見の中で、特例水準の指定医療機関以外の病院、いわゆる通常のA水準上限960時間の病院についても十分な目配せが必要であるという意見があった。県でも、当直規定の申請方法や県の医療勤務環境改善支援センターを通じたきめ細やかな相談体制を用意しているため、積極的に利用していただき、それぞれの病院において令和6年4月の制度開始にあたって遺漏なく準備を進めていただきたいと思います。

6 その他

事務局の春日部保健所から、令和6年2月から3月にかけて第4回目の会議を開催する予定している旨説明した。

令和5年度第3回埼玉県東部地域医療構想調整会議 出席委員一覧

No.	所属（推薦）団体及び役職名等	氏名	備考
1	春日部市医師会 会長	ナカムラ ヤスフミ 中村 靖史	
2	越谷市医師会 会長	ハラ スナオ 原 直	
3	吉川松伏医師会 会長	ヒライ マコト 平井 真実	
4	草加八潮医師会 会長	ナイトウ タケン 内藤 毅嗣	
5	三郷市医師会 会長	クサナギ ヒロアキ 草薨 博昭	
6	東埼玉歯科医師会 会長	トバリ ヒデオ 戸張 英男	
7	草加市薬剤師会 会長	ナガスマ マサヒロ 長沼 雅弘	欠席
8	春日部市立医療センター 事務部長	センバ ヒロユキ 仙波 宏幸	代理出席
9	越谷市立病院 院長	マルキ テカシ 丸木 親	
10	獨協医科大学埼玉医療センター 病院長	オクダ ヤスヒサ 奥田 泰久	
11	医療法人財団健和会みさと健和病院 院長	オカムラ ヒロシ 岡村 博	
12	医療法人社団協友会埼玉回生病院 院長	ヨシモト ユウヘイ 好本 裕平	欠席
13	草加市立病院 病院事業管理者（埼玉県病院団体協議会推薦を兼ねる）	ヤウチ ツネヒト 矢内 常人	
14	埼玉県病院団体協議会議長（医療法人光仁会春日部厚生病院 理事長）	ニシムラ ナオヒサ 西村 直久	
15	公益社団法人埼玉県看護協会（草加市立病院 看護部長）	ムネヒロ ミナコ 宗廣 みな子	
16	埼玉県保険者協議会（全国健康保険協会埼玉支部企画総務部長）	ヤマモト ヒロミチ 山本 広道	
17	埼玉県保険者協議会（春日部市健康保険部参事兼国民健康保険課長）	キフネ ヒロミ 木舟 宏美	
18	春日部市健康保険部長	オリハラ ユキリ 折原 章哲	
19	草加市健康福祉部長	サカタ ユキオ 坂田 幸夫	
20	越谷市保健医療部長	ノグチ ヒロキ 野口 広輝	
21	八潮市健康福祉部長	エンドウ マサユキ 遠藤 雅之	
22	三郷市いきいき健康部長	マシヨ トシユキ 益子 敏幸	
23	吉川市健康長寿部長	コバヤシ イヅミ 小林 以津己	
24	松伏町すこやか子育て課長	ホンダ ノボル 本多 登	欠席
25	越谷市保健所長	ハラ シゲル 原 繁	
26	草加保健所長	ナガムネ ミユキ 長棟 美幸	
27	春日部保健所長	タナカ ヨシアキ 田中 良明	

敬称略